

## 活動報告（1月レポート）

担当：農村整備課

表題：久留女木棚田の恵（お米）を引佐耕作隊（大学生）が届けてくれました

日時：令和6年1月30日（火）

場所：静岡県浜松市



（収穫したお米）



（所長に渡している様子）

1月30日、久留女木棚田（浜松市浜名区）で週に1回耕作をしている静岡文化芸術大学の学生団体「引佐耕作隊」が西部農林事務所へ収穫したお米を販売しにきてくれました。

引佐耕作隊は、棚田の多面的機能を都市住民に伝えたいという思いで、2016年から久留女木棚田の耕作放棄地を活用して稲の栽培から販売を行っているほか、地元の棚田保全団体の総会運営や、獣害対策としての柵の設置等への協力を通じて、地元と関わりを深めています。

今年は、学部1年生から4年生の15人が田んぼ3枚（計480㎡）で稲作を行い、昨年の約2倍の約176kg（500袋）を収穫しました。

収穫したお米は、同大学のデザイン学部生が作成した棚田の5つの多面的機能を表すパッケージに包まれており、両手に収まるかわいらしいデザインに職員もニコニコでした。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。